

経営者の皆様に、次への視野(スコープ)を。  
毎月、かんぽ生命がお届けします。

# かんぽスコープ

Vol.151



## 事業、即ち、社会貢献。

純情で愚直な技術開発が、成果を連れてくる。

CSR<sup>※1</sup>にSDGs<sup>※2</sup>……。企業

には、社会的責任や社会貢献が求められる時代です。多くの企業は、それを副次的な活動として行っているわけですが、もし、本業を通じて社会に貢献できれば、こんな素晴らしいことはありません。特に、自らが技術開発を牽引している社長は、その思いが強いのではないのでしょうか。そこで今回は、宮城県を地盤とし、地場企業では県内ナンバーワンのハウスメーカー、スモリ工業株式会社を取材。60年以上にわたり理想の“家づくり”を追求し続け、それでも「まだ道の途中」と語る須森明社長にお話を伺いました。



「まだまだ、改善の余地があります」と語る須森氏。

### 東日本大震災にも耐え抜いた「スモリの家」。

2011年3月11日、東北を襲った東日本大震災。宮城県の沿岸部には、高いところで10メートルを超え

すなわ

る津波が押し寄せた。直撃を受けた地域では、多くの家が水の圧力で破壊されたが、「スモリの家」は残った。ある家は、基礎ごと流された



したが、躯体は無傷。ガラスが割れた1階に水が入っても、2階は守られ、2階に避難した住人は無事に救出された。

スモリ工業では、震災後3カ月をかけ、全社をあげて全施主を訪問。約6000棟、建物自体はどれも大丈夫だったことを確認し、須森氏は胸をなで下ろした。

「地震や津波が多い宮城の家は、災害に強くなければいけません」

「スモリの家」は、躯体が堅牢なために地震を物ともせず、土台と躯体の連結が強固なために津波に耐え、気密性が高いために水の浸入を防ぐことができた。こう書くとき強さばかりが際立つが、須森氏は「自然には勝てない。受け流すことも大事」とも語る。硬軟織り交ぜての「スモリの家づくり」がどのように生まれたか、次に見てみよう。

### 理想の家づくりを求めて改善に改善を重ねる。

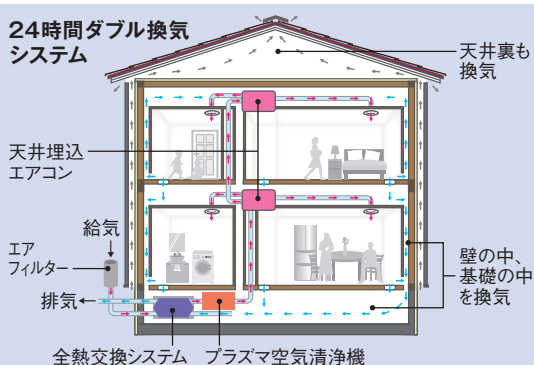
須森氏は、12歳から左官業の手伝いを始め、19歳で独立。26歳でスモリ工業を設立し、工務店としてハウスメーカーの工事を総合的に請け負っていたが、納得のいく仕事ができなかった。

「家は一生の買い物です。なのに、耐震はもちろん、防火、防水、防湿、防腐、防蟻と、どれもとつてもお客さまの家を守る

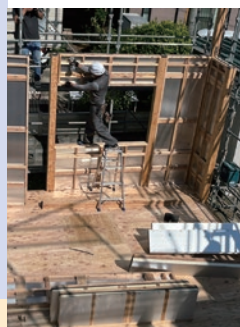
ことができませんでした」反省ばかりの下請けを10年ほど続けたあと、元請けとなつての受注を開始。須森氏は、当時の苦い経験をひとつひとつ解決していく。

例えば躯体では、構造用合板<sup>※4</sup>に代え、木材繊維を1/3まで圧縮してアルミフィルムでくるんだ「銀我パネル」を開発。通常の構造用合板の約4.4倍の強度をもつという。

しかし強さは、より強い力に対しては脆い。そこで、パネルを柱になく部分を埋め込みにし、ゴムパッキンを入れて力を吸収するようにした。この「軟骨構造」により、免震性



空気清浄機+天井埋込エアコンで、常に新鮮・快適な空気を室内に送出。室内の汚れた空気は壁内に吸収され、壁と基礎の中を通して屋外に排出される。



「銀我パネル」を柱に組み付ける工事風景。

に加え、気密性も高まった。さらにこの骨組みに、これもアルミフィルムでくるんだ断熱材を張り、さらにもう一層アルミ被覆を施す。アルミによる防湿効果が五重になっているわけだ。



スモリ工業株式会社  
〒983-0013  
宮城県仙台市宮城野区中野1-5-9  
☎022-254-2233  
<https://www.sumori.jp/>

※1 Corporate Social Responsibilityの略。 ※2 Sustainable Development Goalsの略。 ※3 建築物全体を構造的に支える部分のこと。基礎、柱、壁、小屋組、床版など。 ※4 壁や床など構造耐力上の主要な部分に用いる合板で、日本農林規格(JAS)で定められている。現在では筋交いの代わりとなっている。

そして、この高機能耐力壁を、垂直面だけでなく、2階天井（小屋裏）と床にも組み込み、立方体を構成。6面で家をガッチリと支える構造にした。「でも、まだ足りません。私は左官職人の出身なので、昔作った小舞壁※のような、壁自体が呼吸して湿気を調節し、室温も調節するような仕組みが欲しかったのです」

この発想から、壁内の空気を強制的に循環させる機構を開発。それが数度の改良を経て、現在の「24時間ダブル換気システム」（表面の図参照）に発展している。

こうした数々の「改善」は、須森氏が長年、試行錯誤を重ねて実現したもの。ほかの例をあげると、断熱・防湿・防臭・防蟻機能をもたせた基礎・サイディングの上にレンガタイルを重ねる外壁、室内の塗り壁仕上げなど、枚挙にいとまがない。

## 全ては住む人のため、地域の職人のため。

さて、これだけ高品質な家だから、当然、さぞ高価ではないかと思うだろう。確かに表示価格で比べると一般の住宅よりも割高だ。しかし、「スモリの家」はオールインワンプライス。そこには、通常は別予算となる運搬費や仮設費、屋外給排水工事費、設計・確認申請費、さらにはエアコン、照明、カーテンなども含まれている。これらを加えると、最終的な総費用は同等、いや、同等の金額で

価値の高い住まいが手に入る。

では、この付加価値を、価格に反映させずにどう実現しているのか。

「住宅建築は、分業が進んでいます。製材、基礎、上棟、左官、内装、屋根と、普通は別々の職人が手がけますが、天候に左右されるため、働けない日が出てきます。そこで、複数の工程をこなして、フル稼働できるようにしているのです」

例えば、構造材を現場で床や柱、壁などに組み上げるのは、実は製材職人。加工と組み立てを同じ職人が担うので、それぞれの精度も高まる。また、建築部材や住宅設備のメーカーは、須森氏の考えに賛同し、共同で製品を開発してくれるという。こうした蓄積が、スモリの家づくりを支えているのだ。

さらに、これまで開発してきた「スモリ工法」を、特許を含めて、県外のハウスメーカーや工務店に全て開放。「スモリの家」のノウハウを無償で提供している。

「家づくりは、儲けようと思ったらできません。住む人のため、地域の職人のため、邪念を捨てて取り組むべきだと思うのです」



社長室の隣には、改善を重ねるための実験場がある。

※5 日本家屋の古来の壁。竹で組んだ下地に、ワラを混ぜた土などを上塗りして仕上げる。

# 脳内物質活性化術

## 「ノルアドレナリン」で、集中力を高める



監修＝榊澤紫苑  
精神科医、精神医学・心理学・脳科学の知識を分かりやすく解説。著書は40冊を超え、脳内物質に関しては「脳を最適化すれば能力は2倍になる」などがある。

### ストレスを利用して奮い立つ

「窮鼠猫を噛む」「背水の陣」……限界状況に追い込まれた人間（鼠も？）は、普段以上の力を発揮することがありますね。その理由を脳科学が明らかにしています。

恐怖や不安、不快感などのストレスにさらされたとき、直面する状況から逃げるのか、それとも立ち向かうのか、とっさの判断が要求されます。そこで分泌されるのが「ノルアドレナリン」。注意力と集中力を高め、頭をさえ渡らせて、瞬発的な行動がとれるように準備するわけです。

ビジネスでは、例えば締め切りに追われているとき。緊張感が高まり、猛烈に仕事がかどった経験があるでしょう。これがノルアドレナリン効果です。たとえ余裕がある場合でも、自分で締め切りを設定してプレッシャーをかけると、注意力・集

中力がアップし、短期間で質の高い仕事ができるようになります。

### ドーパミン活性化術と組み合わせよう

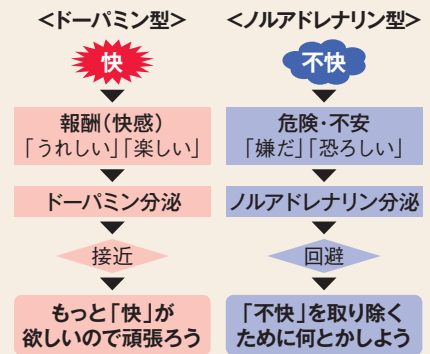
上手に役立てたいノルアドレナリン活性化術ですが、難点は長続きしないこと。ストレスを利用して集中力を高める方法ですから、ストレスに慣れてしまったら効きません。従業員を叱ると、いつかはシャンとしますが、叱ってばかりだと「またか」と聞き流すようになるのはこのためです。

そこでおすすめしたいのが、前号で紹介した「ドーパミン」活性化術との組み合わせ。ドーパミンは楽しいとき、うれしいときに分泌され、やる気を高めてくれます。ただし、いったん快感を得てから「次も」と意欲させるのがドーパミンなので、本格的に働き出すには多少時間がかかります。一方、ノルアドレナリンは、危機回避の脳

内物質なので即効性があります。常時はドーパミンで頑張り、臨時にノルアドレナリンで頑張るのが合理的です。

つまり、いつもは褒めてモチベーションを高め、ときどき厳しくする、というのが理想的な指導法といえるでしょう。

### モチベーションアップの2つの方法



(注)

記事中に記載の法令や制度等は取材当時のもので、将来変更されることがあります。詳細につきましては、各専門家にご相談いただけますようお願いいたします。

Copyright © 2022 JAPAN POST INSURANCE Co.,Ltd All Rights Reserved.

(2022.7.20)